

事務事業マネジメントシート(令和 3年度実績と令和 4年度計画)

令和 4年 6月 1日 更新

事務事業名	新型コロナウイルス感染症予防接種事業					<input type="checkbox"/> マニフェスト関連	<input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連	<input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連	
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	健康福祉部	課長名	坂井 晴代
	施策	14	危機管理対策の推進			所属課	健康づくり推進課	担当者名	小畑 照美
	施策の柱	47	危機管理対策			所属班	健康推進班	(内線)	1632
予算科目	会計一般	款 4	項 1	目 2	事業連番 11797	根拠法令	予防接種法 検疫法		
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 3年度で終了 <input type="checkbox"/> 3年度から開始					事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 2 年度) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (2 ~ 5 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	<p>新型コロナウイルス感染症の発生状況に対処するため、予防接種法及び検疫法の一部が令和2年12月9日より改正され、予防接種の実施体制整備が実施主体である市町村に課せられた。令和2年から速やかに市民に対する接種ができるよう接種実施にあたり予算措置をし体制整備を行い、令和3年5月からワクチン接種を開始した。新型コロナウイルスワクチン接種を実施することで、新型コロナウイルス感染症による死亡や重傷者の発生をできる限り減らし、結果として新型コロナウイルス感染症のまん延防止を図ることを目的とする。</p> <p>接種順位：(県が調整) 医療従事者、(市が調整) 65歳以上の高齢者、高齢者施設等に従事する者、60歳以上65歳未満の者、その他一般の者</p> <p>接種体制：個別接種(医療機関)と集団接種(市の特設会場)を併用で実施</p>
【業務の流れ】	<p>人的体制の整備：庁舎内で対策室を設置。全庁的な体制整備を行う。予防接種台帳システム等のシステム改修：新型コロナワクチン接種における通知対象者の抽出、通知の印刷、接種記録の管理・保存等に必要の改修を行う。印刷・郵送準備：接種券、予診のみ、予防接種済証等の発送に必要な台紙等を確認し、必要事項を印刷、封入・封緘を行う。また、予診票の印刷を行う。接種の実施体制の確保：医師会との協議を行い、接種体制の構築の検討及び調整を行う。ワクチン接種(個別及び集団)可能な医療機関の把握及び調整をする。集団接種の会場を確保し、必要な物品の準備を行う。ワクチン接種の実施、接種費用の支払に係る委託契約を行う。ティーフリーザー設置場所を選定する。医療機関等の接種会場別のワクチン配分量を調整・決定し、管理・分配を行う。接種管理台帳システムへの入力及び情報管理を行う。相談体制の確保：庁舎内にコールセンターを設置し、住民からの問い合わせに対応を行う。広報やホームページで住民への適切な情報提供を行う。接種予約体制を整備する。</p>
【主な予算費目】	報酬、職員手当、報償費、旅費、需用費(印刷製本費、消耗品費、医薬材料費)、役務費、委託料(個別接種・集団接種委託料、コールセンター委託料等)、使用料及び賃借料、備品購入費
【意見や要望】	住民接種がスムーズに実施できるようにして欲しい。ワクチン接種したいが、副反応が心配。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

① 手段(主な活動) 3年度実績(3年度に行った主な活動)(DO)		新規・拡充区分:	
<p>予防接種体制の整備、人的体制の見直しを行い整備した。印刷・郵送準備：接種券、チラシ等の発送に必要な台紙等を確認し、必要事項を印刷した。接種の実施体制の確保：菊池都市医師会や他の関係団体と協議し、接種体制の構築の検討及び調整を行った。市内医療機関へワクチン接種(個別・集団)対応調査を実施した。集団接種の会場選定及び会場レイアウトの検討を行った。また、集団接種に必要な物品を設計し購入した。ワクチン接種の実施体制の確保：医師会との協議を行い、接種体制の構築の検討及び調整を行った。ワクチン接種(個別及び集団)可能な医療機関の把握及び調整をする。集団接種の会場を確保し、必要な物品の準備を行う。ワクチン接種の実施、接種費用の支払に係る委託契約を行う。ティーフリーザー設置場所を選定する。医療機関等の接種会場別のワクチン配分量を調整・決定し、管理・分配を行う。接種管理台帳システムへの入力及び情報管理を行う。相談体制の確保：庁舎内にコールセンターを設置し、住民からの問い合わせに対応を行った。広報やホームページで、LINE等で住民への情報提供を実施した。コールセンターでの接種予約体制整備を行った。接種券の発送を年代ごとに行い、高齢者のワクチン接種を5月から開始。その後は各年代毎に接種時期を設定し実施した。集団接種を6月から開始した。初回接種、追加接種を実施した。</p>		<p>4年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)</p> <p>新型コロナウイルス感染症発生・重症化を予防していくために新型コロナワクチン接種を継続的に実施していく必要がある。国は4回目の接種の実施を検討しているため、次年度もワクチン接種が円滑に進められるよう接種スケジュールの検討を行い、接種予約枠の調査・作成、医療機関とのワクチン配送スケジュール調整、接種に伴う支払事務、接種管理システムの運用による接種情報の管理等行って行く。</p>	
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位)	予算の主な増減の理由	
→ ア: 新型コロナ予防接種実施医療機関数	件	ワクチン接種期間がR.4.9月までであることと、追加接種回数が1回になることによる減	
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等		② 対象指標(対象の大きさを表す指標)	
12歳以上の台志市民 (国の示す対象者)		→ ア: 予防接種の対象者数(人口) 人	
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)		③ 成果指標(意図の達成度を表す指標)	
感染症の発症及び重症化を予防することができる。		→ ア: 接種者数 件	
*③成果指標設定の理由と4年度目標値設定の根拠			総トータルコスト全体計画 ~ 5年度
接種者数が増えることで、感染症の発症・重症化を予防することができ、感染拡大を抑制することができ本事業の意図につながるため成果の指標とする。			0

各指標・総事業費の推移		単位	2年度実績(決算)	3年度実績(決算)	3年度目標(当初予算)	3年度実績(決算)	4年度目標(当初予算)	4年度実績(決算)	予定	見込	見込
① 活動指標	件	イ		27	27	33	33				
② 対象指標	人	イ		63,189	63,600	60,410	60,410				
③ 成果指標	件	イ		414	43,694	123,958	144,547				
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円		13,613	269,925	480,285	213,578			
		都道府県支出金	千円				647				
		地方債	千円						146		
		その他	千円								
		繰入金	千円								
		一般財源	千円			7,030	4,243	315			
	(A) 事業費計	千円		13,613	276,955	485,175	214,039				
	(A)のうち指定経費	千円		0	0	0	0				
	(A)のうち時間外、特勤	千円		0	0	0	0				
人件費	正規職員従事人数	人		20	32	109	32				
	延べ業務時間	時間		3,652	0	11,867	0				
	(B) 人件費計	千円		14,399	0	46,399	0				
	トータルコスト(A)+(B)	千円		28,012	276,955	531,574	214,039				

事務事業名	新型コロナウイルス感染症予防接種事業	所属部	健康福祉部	所属課	健康づくり推進課
-------	--------------------	-----	-------	-----	----------

2 評価の部 (CHECK)

*原則は3年度の事後評価、ただし複数年度事業は3年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	① 3年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】 接種体制の確保に苦慮したが、集団接種の開催回数を増やし、接種枠の確保を行い実施できた。
	② 4年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 接種体制として個別接種を中心に、集団接種も接種状況を見ながら実施する。
有効性評価	③ 成果の向上余地	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 国の接種計画が定められ、住民接種の実施計画が明確になれば、接種体制を構築し接種を行って行くことができるため。
	④ 類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 令和4年度中の統合は厳しいが、今後、ワクチン接種が定期予防接種となれば、感染症事業と統合が可能と考える。
効率性評価	⑤ 事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 現在、臨時予防接種に位置付けられ、国の補助事業となっているが、今後定期予防接種となれば地方交付税措置となるが、一般財源での事業費が発生すると考えられる。
	⑥ 人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 新規事業のため、体制整備から構築していくため、正規職員 (兼務)、会計年度任用職員で運営を行っているが、不活化ワクチンができ、定期予防接種となれば、現在より人員を削減し運営できると考える。
公平性評価	⑦ 受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 接種費用は自己負担がないため公平公正である
役割分担評価	⑧ 行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 各関係団体や機関と役割を分担しているため適正である

3 評価結果の総括 (CHECK)

関係機関と協議しながら接種体制を構築し維持していく必要があり、また、ワクチンの供給量の兼ね合いを考慮しつつ接種を進めて行くなど、苦慮することも多々あったが、接種を希望する市民への接種を実施できた。次年度は接種体制を引き続き維持し、予約方法や接種記録管理等の検討を行い接種がよりスムーズに実施できるよう体制を整備していく。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p> <input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input checked="" type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善) <input type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない) </p> <p>ワクチン接種が滞りなく実施できる体制を整備する。</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1" style="width: 100%;"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td>○</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>△</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上	○			維持			△	低下			△
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上	○																				
	維持			△																		
	低下			△																		
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>接種をより速やかに進めて行くためには、接種機関の確保及び接種枠の確保が重要となる。医師会との協議を引き続き行い、接種体制を維持するために協力依頼を継続していく必要がある。</p>																						